



学校だより

(2月号) 令和6年1月31日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
 - ・すすんで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 感謝の気持ちを伝えよう

伝統的な遊びを楽しむ

～学校・家庭・地域の連携・協働～

校長 白石 徳一郎

能登地方の災害でお亡くなりになりました皆様、被災され避難生活を続けられている皆様に心より御悔やみと御見舞いを申し上げます。そして、私たちに何ができるか考えることが大切であり、日頃からの地域のつながり、絆の大切さを改めて感じます。私たちは、被災地の皆様のためにできることを考えるとともに、地域づくりについても考え、力を合わせていかなければならないと思います。そのためにも、子どもたちを将来の地域づくりの担い手として育てていくことが大切ではないかと思います。

さて、このような折、1月9日(火)に桜区区長の阿部健一様、青少年育成桜区連絡会会長の土橋勇司様をご来賓にお迎えして、青少年育成新開地区会主催の第38回「彩の国21世紀郷土かるた大会」が本校の体育館で盛大に行われました。審判は審判講習会を受講された保護者の皆様がなさってくださいました。第38回ということは、昭和の時代から伝統行事、伝統文化が地域の皆様、そして、保護者の皆様のお力で継承されていることとなります。青少年育成新開地区会会長の「大貫 充様のお父様も同地区会の副会長をされていたとお聞きして、地域の皆様が代々、地域の子どもたちを育ててこられた歴史を感じました。

低学年の生活科には季節に関する学習があります。「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする」ことを目標としています。かるたは、お正月に行う伝統的な遊びで、季節の行事や遊びに親しみ、生活を楽しくします。また、異年齢の友達と男女一緒に楽しむことができます。背筋を伸ばし、集中力を研ぎ澄ませ、読み手の声に素早く反応する姿は大変見ごたえがあります。団体戦には連帯感もありますので、中学年以上の子どもたちにもぜひ楽しんでもらえたらと思います。

本校では、12月と1月に1年生が昔遊びボランティアの皆様にごま、剣玉、あやとり、お手玉を教えていただき、今年度は「郷土かるた」も楽しみました。昔遊びは練習すると必ずできるようになり、上手になって達成感を味わうことができますので、ぜひ、あきらめずに頑張ってください。放課後チャレンジスクールでも「郷土かるた」を行いました。郷土かるたは「一般社団法人埼玉県子ども会連合会」で購入することができますので、お友達と練習して、来年も多くの子どもたちに挑戦してもらえたらと思います。

子どもたちのために楽しい催しをしてくださっている地域の皆様、保護者の皆様、また、昔遊びボランティアでご協力いただきました地域・保護者の皆様、ありがとうございました。

最後になりますが、12月と1月に行いました拉致被害者救出のためのブルーリボンバッジ募金では児童・保護者・教職員の皆様から7,500円をお預かりし、救う会にお渡ししました。ご協力いただき、ありがとうございました。



高学年団体決勝



低学年団体決勝



高学年個人決勝



低学年個人決勝

←1年生生活科
「昔から伝わる
遊びを楽しもう」



